三才雜錄

十二

1000
3
峡入

国立国会図書館　三才雜録　特1000-3

ガラス使用

特1000 3

日夏氏武林原始

小早川異系

頼尊 下総介

常遠 下総三郎

常宗 上井下総守

寛平 土肥二郎

遠平 弥太郎

惟平 先二郎

実源義信子万寿冠者按ニ此説非也

景平 小早川二郎兵衛

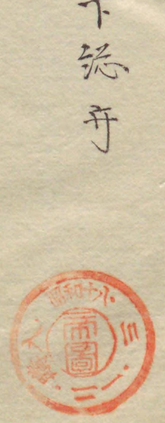
茂平 美作守

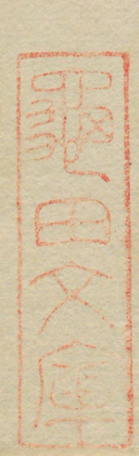
建藝州豊田郡米山寺

十一月廿一日死法名本仏

季平 新庄二郎兵衛

小田掠梨 和木大草 上山祖





朽木文庫

龍田文庫

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3

ガラス使用

推イ
政平 三郎
七月十八日卒覚本
朝平 太郎左衛門
十二月朔日卒観稗
経平 舟木太郎左エ門
宣平 備後守 安藝守
十月十二日卒円照
政景 竹原
忠茂 秋光

貞平 備後守 美濃守
二月十六日卒仙身本明
資平 猪熊
氏平 小泉
氏実 浦

春平 美作 右近将
大内義弘反逆ノ時打手ノ内有功正月七日卒天心宗順
土倉夏平

惟平 生ノ口
明平 末弘
巨真寺祖踏
小坂将平
俊平 勘ヶ由左エ門

東方平
茶原尚平
真良伯耆守真康
近宗廣平
法光遠江守時則
江良兼順

則平 美作守
建藝仏通寺
嘉吉元年八白旗城攻有功永享五年正月廿六卒
二十一大言常建
巨真寺含薫

凞平 備後守 実貞平子
文明四年十二月三死備後江田
五十七本原常立
二郎太郎敬平
三嶋満平

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

梨羽時春
又四郎太仲

巨真寺白英
三嶋東堂据宗

敬平 美作守
四月十日卒笑翁観心
乃美安キ定景
巨真寺殊椿
成就寺令才
生口元清

扶平 掃部分
永正五年正十四卒
惟三常因
巨真寺祖騮
梨羽康平
蓮花寺
女子

奥平 掃部从

正平 久太郎 始詮平

大永五年十二廿六卒廿二
実岩宗真

代々藝州豊田郡沼田
庄高山城主天文十二
五九雲州鴟巣川討死
天秀祖祐

又鶴丸 一林院文室元緒
隆景 左工門督

吉川異系
為憲 遠江守 時理 三河守 時信 駿河守号大江
維清 右馬允 清定 山城守 景兼 右馬允

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3
ガラス使用

景義 馬三郎
居住駿河国吉川邑始吉香或木河

経義 吉川三郎
法名本無

友兼 小二郎 左工門尉
法名道哲 正治二正廿
梶原景茂ヲ討時手負
後日死

経兼 左工門尉 改朝経
法名常尼賜播州
福井庄

経光 弥二郎 左工門尉
法名慈願元仁二年正八
被補駿河国吉川及播
广国福井庄地双職兼
久三二十四字治合戦有
功仍賜安キ国大朝本庄ホ地双職

経高 二郎 法名一心
仕尊氏有功賜感書

経秋 五郎二郎 駿河守 道心
仕義詮有功賜感書

経見 ハル 左兵工尉 駿河守
法秀 実経兼子

経信 五郎二郎 治部少 駿河守
仕義教有功賜感書
康正二二十卒円明院
月ホ浄心

之経 左工門大丈 伊豆守
仕義政有功賜感書
文明九正七死大智院
正観中ム

宮庄下総守経友
志道原彦三郎信経
大塚二郎三郎経方

元経 二郎三郎 駿河守 改経基 仕義政

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3
ガラス使用

永正十七年正八卒玉臺院瑞方慶本

国経 佐部少 伊豆守

亨禄四六十八卒正受院一株慶寺

石七郎兵衛経守

国御門内守光経

筑掃部少経法

女尼子経久室

元経 佐部少

大永二三六卒雄猛院

義仲全勇

大塚大蔵々経永

奥経 二郎三郎 佐部少

天文十九九廿七卒桃原院

安叟常仙仕大内義隆領

地数ヶ所也

吉川伊豆守経世

女毛利元就室

大内

弘貞 従五位下周防少 兼領周防国 弘安九年七月

七卒覚浄

弘家 正六位上周防少

正安二年三月廿八卒大宮殿円浄

童弘 正六位上周防権少 六波羅評定

元応二年三月六卒乗福寺道山浄恵

弘幸 正六位上周防権少

文和二年三月六卒永興寺寒岩妙厳

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3

ガラス使用

弘直 新分 建武三年七月七於石丹盃田大山被誅
督 瑞雲寺東海淨智
弘世 分 防長石三州守
師弘 分 康厂二年二月十一日卒正寿寺玄峯道階

義弘 從四上左京太夫 防長豊石及紀泉西州和宇
多郡領 新後拾遺作者
弘茂 応永六十二月廿一討死香積寺梅牕道実
応永十年十月廿卒真林院日菴淨栄

教幸 新分 毋今川仲秋女
盛見 依友心被誅廣澤寺南栄道頓
從四下左京太夫 改盛世 德雄

新續古今作者 永亨三年六廿八戰死肥前
萩原
持盛 正六上周分
永亨五四八死 観 普寺芳林道継
教祐 孫三郎
永亨八六廿七死 保寿寺鼎文允盛
満弘 伊子守 号馬場殿 矣泉寺陽世
女子 山名讃岐時改 大友親世
教幸子 太宰少二頼光
持世 周分 刑部少修理大夫 從四下 新續古今 新
免玖波集作者 嘉吉元年六廿四被疵
七月八日死 澄清寺道岩昌弘

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3
ガラス使用

教弘　持盛子養之　從四位下左京大夫
寛正六九三年卒四十六闢聖寺大塞
政弘　從四上左京大夫　長享元十二廿七
義典　從三位
享祿元十二廿卒五十二凌雲院傑叟義秀
輝弘　太郎左エ門

桑梓（モトフクニ）　烟氣（ケムリ）　宮南（ヲホウチ）　殿屋（ミヤ）　兵庫（ブグクラ）
大聖（ヒシリ）　億兆（ヲホンタカラ）　居民（日）　黎元（日）　豪雄（ヒトコノカミ）

万葉

將卒（ツハモノ）　典馬（ムマアツカリ）　行支（カリビト）　身中（ムクロ）　岐嶷（カブロ）
掌中（タナウラ）　身退（ミマカル）　神劔（ツルキ）　神刀（日）　艇舸（コブネ）
絡縄（アゼナハ）　釵（ナメ）　細鱗魚（アユ）　放屁（ユハリマル）

右日本紀

朝鳥（アウト）　白風（アキカゼ）　暮三伏一向夜（ユウツクヨ）　冷風（シタカセ）
湖風（ミナトカセ）　下風（アラシ）　捲螺風（ツシカセ）　仟端（アメ）　向南山（キタヤマ）
追馬喚（ツマ）犬　始水逝（ミヅハチ）　若月（ミカツキ）　大川（ヤト）
家門（日）　柜楮（マセ）　御民（オホンタカラ）　物部（モノブ）　海子（アマ）

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

若子（ミトリコ）　嫵嬬（ヲトメ）　襁襁（タマタスキ）　童石下（イカリオロス）　雷鳥（アミ）

大分青（アシチムマ）　春鳥（ウクヒス）　水鳥（ウ）　吉魚（フナ）　速稲（ハヤ）

茅子（ハギ）　天香木樹（ムロノキ）

天中（ヲホツラ）古語拾遺　天帰月（ソラユクツキ）八雲一言抄　一伏三仰（ツキヨ）十訓抄

春朝宣（アサマツフラ）後鳥羽院口傳　白氣（キリ）万葉　嵐（アマノキリ）同

雨脚（アメノアシ）明月記　向峰（カタチカ）八雲一言抄　此面彼面（コノモカノモ）無名抄

下田（クボタ）古事記　残氷（メマリミヅ）鎮座本紀　大始（ホノヲ）旧事記

火熱（ホトヲル）日　火氣（ホトホル）日　熱灰（アツバイ）日　赤灰（アツバイ）技業畧記

凝煙（ス、）古事記　帝宅（ヲホミヤ）鎮座本紀　腋庭（キサイノミヤ）旧事記

内寢（オホトノ）旧事記　卧内（日）日　公民（ヲホンタカラ）古事記　田亭（タオサ）真名伊勢物語

守田稲（ヲタマモリ）石見女式　射固（セユ）万葉　狩士（カリヒト）旧事記　賤人（ヤマカツ）

喜撰式　資人（ツカヒモノ）續日本紀　下衆（ゲス）和泉式部集　希客（メツラシキマラフト）

旧事記　少幼（ハラハ）日　天女娘（ヲトメ）鎮座本記　防技人（セキモリ）三代実録

匂引人（ヒトアキヒト）佐曹至要　生命（タマノヲ）古語拾遺　日業（クチツクム）世継

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

吾出（スグム） 河海抄 ユカムニ 打手（カシハデ） 中古記 裳瘡（モガサ） 続日本紀 班子（モカサ） 日

赤班瘡（モガサ） 拾芥 阿妹（アネ） サンシヨ 御刀（ミハカセ） 古事記 刀劔（カタナ） 世紀

裝刀（カサリカタナ） 続日本 横佩 仁明記 内緝（ハナ） 日本記 菊霊（クサノ人カタ）

延喜式 飛鼯（ムサヽビ） 出雲風土記 近志呂（コノシロ） 同 截麵（キリムキ） 尺素

坂樹木（サカキ） 日本紀私記 花木（サクラ） 鎮座本 梅花（コノハナ） 喜撰式

楉（スハヘ） 心御柱記 蝦手木（カヘテ） 建暦日記

朱子 名喜 字仲晦 始元晦 新安郡婺源縣人也

又朱松韋有先生 建炎四年庚戌九月十五日

午時生慶元二年三月甲子卒七十一歳三子

アリ長塾 次埜 季在

著述

周易本義 啓蒙 詩経集傳 小学 近思録

四書集註 通鑑綱目 伊洛淵源録 宋名目言行録

程子 名顥 字伯淳 又程珦 洛陽人

明道元壬申生 周子門人 元豊八年乙丑六

月十五日卒五十四謚明道先生

程頤 字正叔 明道才

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3

ガラス使用

明道二癸酉生　周子門人　大観二年戊子
九月庚午卒七十五　謚正公
易傳　春秋傳

鄭氏　名玄　字康成　後漢桓帝時人
馬融門人

呂氏　名大臨　字子叔　伊川門人
克己銘ヲ著ス

何氏　名晏　字平叔　魏文帝時人
論語集解

謝氏　名良佐　字顕道　上蔡人　程氏同時

尹氏　名惇　字彦明　又林　伊川門人
卒年七十二

楊氏　名時　字中立　將樂人　二程氏門人
卒年八十三号亀山先生

胡氏　名寅　字明中　安国子　号致堂先生

洪氏　名興祖　字慶善　丹陽人

游氏　名酢　字定夫　建陽人　程子門下

呉氏　名棫　字才老　建安人

張氏　名栻　字敬又　南軒先生

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

范氏　名祖禹　字純夫　從司馬温公
資治通鑑ヲ編
帝学八　唐鑑十二　仁王改典六
延平李氏　名個　字愿中
周氏　名字先　字伯琥　晋陵人　伊川門人
陸氏　名元郎　字從明　唐ノ蘓州人
馬氏　名融　茂陵人
李氏　名郁　字光祖　光沢人　亀山門下
西山先生
趙氏　名匡　字伯循　河東人

黄氏　名祖舜　字純道　福清人
蘓氏　名軾　字子瞻　東坡居士
孔氏　名安国　孔子十二代孫
張子　名載　字子厚　程子門人
侯氏　名仲良　河東人　程子門人
劉氏　名勉之　崇安人　亀山門人
朱子ノ師ト云
劉氏　名安西　温公門人
晁氏　名説之　字以道

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

許氏　名慎　字叔重　後漢人
刑氏　名昺　宋ノ代
論語孝経ノ疏ヲ作
王氏　名安石　臨川人
晉氏　名幾
楊氏　名雄　字子雲
法言　大玄経アリ
趙氏　名岐　字邠卿
王氏　名劭　字君懋　京兆長陵人
作隨書

韓子　名愈　字退之　南陽人
歐陽氏　名脩　字永叔　号六一居士
太史公　作唐書五代史
司馬遷ナリ　作史記
孔氏　名文仲　宋人
董子　名仲舒　前漢人
林氏　名之奇　宋人
鄒氏　名浩　字志完　宋人
陳氏　名暘　字晉之　宋人

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

何氏　名鎬　朱子門人
胡氏　名安国　字康候　作春秋傳
徐氏　名度　字孝節　宋人
羅氏　名從彦　字仲素　亀山門人
陳子　名権　字瑩中　宋人
潘真嗣　宋新建人
范浚　宋蘭溪人
丁氏　名公著
豊氏　名稷　鄞縣人

呂氏　名希哲
石氏　名敦山　字子重　朱子ノ友
孔穎達　唐大宗時人　孔子三十二代孫
作五經正義
周子　名敦頤　字茂叔　濂溪先生
邵子　名雍　字堯夫　作皇極經世書
胡瑗（アン）　字翼之
呂東萊　名祖謙　字伯恭
蔡沉　元定子　朱子門人　作書經集傳

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

李氏雜書云△熱事（マンノコト）△（モテス）常ヲ
稽譯名義云弘是西域萬字佛ノ胸ノ前ニアル
吉祥ノ相也卍ニ改メシハ大周長寿二年主上
推（カリ）制此文著於天樞音之為萬同書云
△□音萬是吉祥勝德ノ相△章安ガ疏云
言伊字下畧以伊通ス
●延喜大嘗會式ニ柏手四度度別ニ八遍神語ニ
所謂八開手是也
○尾丹槿（ヤヒラ）須賀辺ノ方言ニ川魚ノチイサキヲ水
菜ト云
○竹ノ著延喜内膳式ニアリ又姓氏録ニ著竹ヲ

奉リテ氏ヲ賜リシヿアリ今ノ俗竹ノ著ヲ
忌ハ非ナリ
○東宮切韻菅原是善作
序ニ云本朝ノ古以呂音勝ル於律ニ故以呂為
自音以律為助声王仁以知其舌本之應（スルヲ）
呂ニ教人云々
○類聚雜要第一云上紙十八枚搔（カイシキ）敷紙云々今
のかいしきとなるやや
○尾かもらい梵語此説非之カハラ日本紀ノヨミ之
○麻（オケ）笥芋ヲ入ル物櫛笥ナト苧シロ桶ヲハカ
イト云ヘシ古書ニ水ガイナト見エタリ今モ肥

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

前国ニハ桶ヲカイト云
ハザウハ湯水ヲツク物ニテ俗ニ云湯桶ノ類也
今ノ湯ツギナリハンサウハ誹
○京都洛外ヲ司ル雑色四人アリ両人ツヽ南方
北方ト別レ昔ハ禁裏ニ属シ蔵人所小舎人
雑色ト号職原抄ニ良家子補之トアリ
足利ノ時四十八ケ所ノ簡者ト云是之太平
記牙四ニモ見タリ室町殿五節勾ノ次牙ニ簡
ノ雑色トアリシカトシタル武士ノ職ナリ
○山ノ根ト云ハ頂上ノ丁之富士ノ根モ同シ葉ノ
ヤウニ古寺ナトニ詠タルハイカヽ
○吉野山吉水院ニ親房自筆ノ職原抄アリト

○爾玉ノ字玉ニ従フ字ニアラス土ニ従フ也字彙及
説文ヲ見ルヘシ
○裝束文錺推詰ト云書一巻アルヨシ
○逍遥院実隆ノ作ニ五月両ノ記ト云アリタキ
物香ノ具ノ丁あとあり
○天子ノ御自書ヲ宸翰ト云勅書詔書ハ大内
記詔勅ヲ奉リテ書ク也
○朱子ノ文集ニ界行トアルハ今ノ紙ニ條ヲ引
テカクヲ計ト氏系トモ云丁ナリ
○法曹至要抄ニ車ニノルハ五位以上也但六位モ
其仁ニヨリテノルヘシ
○頂磨ノ記ト云物世ニ菅公ノ御自作ト云偽書ナリ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

○月令廣義ニ上巳トアリ巳ノ字ニハアラズ
○室町殿ノ記ニ云
一中間衆の赤錦三十文ツヽ売元は役舟売ニ之
上七十小下有之候小ニうまもめんは相記
一廷さ付売申ニ卜七リこの売買まて小候も
ちうまるおとうぬ赤錦まて小売申ニ下乱
まてゆ有売中んね乃て年つ候小
一中房衆売しさ乱かまへ捨つる也ちもしれ
つ中也可御織小此比無之座の売買売石
さ付売申ニ下可下の也すいしや新座衆
卜小売中ん坂てみし小
十二月二日　林喜右門

岡村右衛門殿
佐野権助殿
飯尾右衛門殿
右ハ天文九年ノ事之
○鑷（ノソコリス） 日本紀巻廿六斉明天皇三年九月
ノ條ニアリ新鸞上人和讃トイフ物ノ文
辞ノ内ニノソコリストアリ
○高僧傳ニ天笠ハ辰ノ月ヲ以歳首トスト我朝
ノ五（三カ）月也
○明月記補二十巻文暦二年五月廿七日文ニ云

差哉中院色紙形善恵入道自天智天皇
以来及家隆々云々是今ハ百人一首の事成
へし明月記ハ定家の日記なるが全篇百人
一首の事見へ又後成ノ表ニこれりて嵯
峨ノ小倉の山荘にてしるしつ遣しとハ陰拠
あし
○とろくけの半奥丹とろくしゆるゆるしゆるゆるしゆる出れいも
とろくしよりゆるゆるしゆる名あり
○旦也ノ二字旦ハ男根也ハ女根也字彙ニ出
○古へハ胄ノ下ヲ半頭ト云タルナルヘシ其支保
元平治難太平記ナトニアリシコロノナキ胄ナ
リ今ノハツフリト同名別物ナリ

○酒ヲくちんと云ヿ女ノ詞ノミニハ限ルヘカラス左
傳僖公廿二年云楚子入享于鄭九献註
云用上公之礼九献酒而礼早云々 吉野殿
雑事ニモ軍立ノ九献
○江談抄第三云知二置上下一ヲ天可敷支也西筵
遠裏仁折返天開付多留遠上仁知也不折天
只付多留遠下仁可敷也是置ノ上下ノ古実歟
○鎌倉下緒ト云物アリ室町後記ニ云持セル刀
ノサケ緒鎌倉振ヲ結ヘ七尺五寸ニテ端ニワ
ナヲ用ユ
○首ヲ遠ヲヘ者ス時ハ脳ヲ出シ塩ヲ付テ味噌
ヲコメテ者ス物之日ヲヘテ首不損此事長府

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

平家物語ニアリ

○權法散ト云妙業ナリ蹴ノヌケカタキニ用ユ蟷螂ノ干乾ヲ細末シヌケカタキニ疵ノ口ヘサシヌレハ蹴ノ跡少シ出ルヲ升黄ニテヌク妙〻不可疑高坂彈正秘法トス

○陳扇二色紅ニ日出シタルハ大將軍師持之惣地紅ニテ日丸斗金之又紅ノ日出シタルハ副將持之惣地金シノ日丸ハ朱ナリ

○足恒ト云名目古ハ仟候ノ士ヲ申ニヤ衣(キヌ)川百首

[illegible]

○アミ笠ハ太平記十一相模太郎落行ニ見ユ古今著聞ニ一條帝ノ時アミカサ著タル人トアリ

○弓ノ流元ハ伴流紀流ノ二流元祖ナリ日置ハ後之

○罪人ノ名貴人ニ同シケレハ改ムルヿ之義經良經同名之トテ義顯ト改ムト官符ニ書シヿ九条家ノ書玉海ニアリ平忠政花山院忠雅同訓ニテ忠貞ト改ト保元ニアリ

○松田一樂ノ作ニ古今兵革異論ト云アルヨシ

○左右ノ馬允ノ平氏ノ人ヲ平馬ト云藤氏ヲ藤馬ト云藏人モ源氏ハ源藏平氏ノ人ハ平藏内舍人モ藤氏ハ藤内平氏ハ平内

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

ナリ皆本百官

○笠掛ノ事中古記寛治二年二月八日ノ記ニ見タリ

○作リ太刀ノ事進物斗ニモ非ス略式ノ時ハ帯スルヿヲアルニヤ應仁元年西殿日次ニ云ク此比のゆおとろへ中〳〵中さんもうしてけれは又けしかるまい上ゑなる太刀さへ名のこしてまいまいむなしくつくりたる刀とゆゑを仕出しぬ是も例のたゆ此所ゆきしめとなんあるこのおとろへより上ゑなりてせんなき事なるとなり

○様ノ字ノ事康富日記ニ云宝徳二年八月廿二日是日室町殿有御受衣中略

禁裏様ハ日同有御受衣云々此時分ヨリ様字用ヒタリヤ鎌倉年中行事ニモ公方様トアリ

○神社ノ棟ニアル千木カツホ木ト云物古ハ人家ノ棟ニモアリシヤ京地愛宕郡小野々雲ヶ畑村ノ家所々ニアリ風ノ押ヘナリト云名ヲ問ハカツウ木ト云千木モ風木ナリ東風ト云ニテ知ヘシ

○与州松山ノ辺ニテホトヽキスノヿヲコツテ鳥ト云奇草帛ナトニクツテ鳥トアルハ是ナルヘシ

○鷹ハ一連二連ト云犬ハ一牙二牙ト云ヨシ

○人丸ノ装束冬ノ直衣ナリ表白綾裏浅黄

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

ノ鎗ナリ袖口ノ裏ヘ半すじ表ヲ折カヘシテ
ヲリ之業平ノ裝束ハ夏ノ直衣之夏ハ浅黄之
○菅公ノ出裝束ヲ繪ニカクハ黒キ袍之其時
代黒ハ橡(ワルハ)トテ表股ナル上四位已上ノ黒袍ヲ
着スヿ建厂ヨリ後ノヿ之
○院ノ御所ヲ北面ノ御所ト云天子ヨリ一等下
リサセ玉ヒ天子ハ南面ト云ニ対セリ院ノ御所ニ
仕ル武士ヲ北面ノ武士ト云之院ノ御所ニ限リ
タルニ外ニナシ
○延喜式ニ扇ノ蠏目ト書テカナメトヨム要ハ
後ノヿ歟
○中啓ノ扇末廣歟十二本骨之多ハ大ニヒラキタ

ル末廣ト云古法ニナシ
○直衣(ヒタヽレ)大將ハ赤地副將ハ紫地ナリ
○士鳥帽子古ハ圭(ケイ)冠ト云物之日本記ニ圭(ハシハ)冠(リ)ト
アル是之冠ノ類之古ハ上下共ニ着セリ今京
都室町鳥帽子折ノ脊板ニ土ヲカクハ圭ノ
字ノ略歟ハシバ冠ハ上ヲスベクニリテ着セシ物
歟ハシバルノ略言歟
○引立鳥帽子ハ胃ノ下ヘキルニ胃ヲヌケハ引
立置之
○風折ハ立鳥帽子ノ風ニアヒテ折タル形也古ハ
皆キヌニテ作ル故風折スルニ
○栖軽(スカル)太刀トハ柄以テ鳥ニシテ窠ノ鍔ヲ掛タ

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

ルヲ云鳥ハ鳳凰之風ノ栖ヨリ出ルテイ之窠字
和名抄ニホノスト訓ス鳳ノ栖ト云義之
○目黄古ハ目釘ノ上ニ打之延喜式ニアリ
○太刀其外ノ鍔ニ紫革或ハ藍革ホヲ用ヒ
神前ナト出ルヿ憚ナシ皮ハ可忌革ハ不可
忌革ノ字アラタムト訓スルモ製シ直シタル
ユヘニ
○信実記ニ扇ニ物ヲカリニ骨ヘカヽラヌ指ニカリ
ヘシ
○芦手書ト云ハ奇ノ心ヲ半分ハ鈴ニカキ半分
ハ文字ニカリヿ之
○古ヘ金作太刀ト云ハ大方メツキニ真鍮作之

正金ヲ用ルハ乱世の風ニテ用意ノ為之
○太刀ノ鍔窠ニ極リシ物之
○鎧ヲキセナカト云ハ尊テ之
○竹取物語　うつわ物語　世継物語
伊勢世継物語　続世継物語　大鏡トモ云
ます鏡　栄花物語　狭衣　水鏡
伊世物語
是ヲ十語ト云
徒然草　枕草帋　四季　御鍔の記
内湯度の記
是ヲ五草ト云

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

右娵入の具之集棚々カサル
右出妹育間語
続世継ヲ大鏡とも云とあるハ不審別物なり

正保元三月李潟(イン)陷北京大明崇禎帝亡五
月達旦国号大清改元順治同二正廿三日愛
岩悉々　五條石橋成　同四九十四日光御門跡
江戸下向　十月仙洞女院幸洛北長谷毎年為
例　慶安二六廿夜江戸大地震　両月不止
七月日光御門址上京得一品法親王　同三六四夜
雨後ニ降毛長尺四五寸以下　同四二廿五朝勤行幸
廿九日还幸　承応二六廿三禁中失火　同三九廿

崩御廿二ヶ十五葬泉涌寺
明厂二正廿三即位　十十六十七江戸火　同三四月
伏見及女出京七月十入江城万治元正十又二廿二
江戸火　同二正廿五中京大火　同三正十四江戸火
六十八夜雷落大坂城大茅庫
寛文元正十五禁裏以下悉々上同月十九廿
江戸大火　同二三大仏ヲ破　五判大地震
同三正廿一東宮迁禁中廿六讓位廿九仙洞女院
同幸東宮廿七即位　同四八廿七鷹司房輔任
摂政　十異星南出同五正二大坂天守雷火
詔定洛陽三十三所観音　定緒布丈尺　七廿
五聖護院峯入

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

同六四不施不受僧流ス　五廿六江戸光物東ニ飛
長二丈其形女人　同七多田院再真
同八正白氣見西　二朔江戸火　三十六房脯任
関白　四六江戸大火　同九三十一流星行東
七十一天狗星飛　十一廿一教平女入内
同十八廿三摂州大風土フル津波
延宝元四十一隠元死　五九夜内裏　下炎上
同二二廿六黒氣見東及西幅一丈斗
同三九三王子生　十一廿五本院以下炎上
同四十二廿六仙洞女院炎上
同七六十八白川照高院門跡死
同八五十九法皇崩　九十廿六日葬

同日光市門主死　十一月坤方ニ白氣
天和元十一廿八江戸大火　十二十二伊世内宮炎上
同二二一条冬経開白　三廿五皇子　業儲君
宣下同日女市房子立后　六廿三儲君移後
水尾旧殿　十二二親王宣下　七日毋公大納言
典侍准后宣下同廿八江戸大火　同三二九東宮
宣下十四日房子中宮　六月越後業取否ニテ獅ヽ
ヲ打殺ス大四尺八寸　十二五江戸大火
貞享元十廿一止旧歴行新歴　同二二廿二流星飛
五廿二後西院市母御画友薨逢春門院
同四正廿三東宮元服　三廿一受禅　四廿八即位
七廿五聖護院二品道祐峯入
元禄元四十五女一宮逝　同三正十三近衛基ヒロ

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

開白 三三光物八十八道祐逝 同五五六日月星出
二月移再興 十二朔京大火 同六四九朝キン行幸
九廿七日仙洞姫君薨 同七三月加茂祭再興
六十東山院才一宮薨 伏見貞致死
八四三日妙法院堯然化 小倉大藏從配所皈京
同九從二十九至廿一日江戸大地震 八ノ三女中宮死
十一十本院崩七十四廿五日葬 同十二十五有久川幸
仁女幸子入内 同十四八二孫王權現ト号
同十六正鷹司兼ヒロ開白 十一廿二開東大地震
宝永元秋江戸洪水 同三七七一乗院真敬化
同四四廿九尊氏三百五十年忌等持院ニテ修 六十五
於加宮入知恩院号二品 道統親王

同五二十一東宮移新殿 十六立坊 廿四行啓 廿七立后
三八京大火禁裏以下悉々上
同六六廿一於近衛家久亭假殿讓位 廿三近衛
家ヒロ摂改 廿四布衣始 十廿五基ヒロ大改太臣
十一十六天皇移新殿 十二廿九母后賀子死
同七正十新院葬送東山院 廿三日賀子中葬
送京極ロ山寺三十五ヶ 三廿六日從二位准后新崇
奥門院 三廿一日中宮中所東山院后号兼秋門
院廿七中院通茂死
正從元三近衛家ヒロ太改大臣 五十八知恩院道
流化 同二四十四女院崩新上西門院 七月
九条輔実摂改 同三八十六仙洞中菩餝

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3
ガラス使用

素淨法皇　同四七八聖ニ院道兼化
同六四廿一日光大明院宮化
享保元九十一法皇女定宮死　同月有栖川幸
仁死　十一朔九条輔実開白　十三日近衛家
ヒロ女入内号女御

常陸國志云小栗氏祖ハ出自桓武天皇子葛
原親王親王子曰高見王其子高望王始賜姓
為平氏任從五位下上総介高望有六子長曰良
望任常陸大掾改名国香其子從五位右馬介
貞盛改常陸大掾其子大掾繁盛其四男多
氣平太夫維幹其子為幹号常陸守其子繁
幹其四男小栗五郎童義其子小郎童成其
子二郎童信其子弥二郎朝童其末葉応永中家
絶

日本奇跡考云摂州東生郡林寺村ニ殺生石あり
雖石ゝも云　又云石見国二万郡鳥海の湖水ニ諸
鳥いまゝハ必ス死

秋田城記云昔築秋田雄勝二城以為東北之管
轄其後廃之宝亀十一年復城于秋田知羽州
者為城介或時兼鎮守府将軍或兼奥州羽
州按察使昌泰二年罷之永承五年九月以
平繁盛為城介其後又廃建保二年三月藤
景盛任之其子義景孫泰盛相紹近世織田

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

信忠兼之其為童任可知也

日本奇跡考云播ナ國海の渚の右に鎗あり此處に鎗源ト号安キ國に佐東新庄といふ村あり佐東ハ北新庄ハ南之其さかひに桃の木あり佐東の方の枝に安まり実ハ小かく新庄の方の枝に安る実ハあまし豊後ニ海部郡佐賀開に白カ演黒演といふ有其石ひとつもましりけれ白黒のさかひ鎗をひけるかとし

人麻呂十五人　歴代同名異人

柿本人麻呂

右見国ノ産之文武内宇四位ニ任聖武ノ内宇

従三位木ニ及之神亀元三十八卒ス右見国四十三才之

山口忌寸人麻呂　正七位下天平勝宝年中ノ人

阿部小殿朝臣人麻呂　従五下神護景雲中人

石川人麻呂、弾正少　同比

賀茂人麻呂　員外少輔　宝亀八年

陽候忌寸人麻呂　東市正　延暦四年ノ比

伊蘇志紀人麻呂　正六上　右続日本記

文部人麻呂　正八下上毛野　陸奥守同時

田口人丸　田口光人子　右日本後紀

玉傳深秘抄　孝謙比右見女式

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

山田人麻呂　天武ノ比　玉傳抄
材木人麻呂　玉傳抄云平城市宇ニ仲原清主ト云
奇人姓をあらはめ材木人麿と称せり
あまとぶや かりのつかひ[illegible]
[illegible]
玉手人麿　陸奥介従五位下天平勝宝年中ノ人
帋草紙
山城史生上道人麿　同書
葉栗臣人麿　一書栗原人麻呂尾張国葉栗郡光明寺ヲ建立ノ人ニ
アイナウ抄
上総景清女人丸　鎌倉志
石川朝臣足人　佐伯朝臣足人

巨曾部臣足人　曾根連足人
百済朝臣足人　栗田朝臣足人
三人ハ天平勝宝ノ頃
大神朝臣安麻呂　安部朝臣安麻呂
高橋朝臣安麻呂　巨勢朝臣安麻呂
上毛野朝臣安麻呂　沼田朝臣安麻呂
大伴朝臣安麻呂　平郡朝臣安麻呂
高向朝臣人足　佐伯朝人足
縣田首人足　河内忌寸人足
中臣人足　坂門人足

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

塩屋人足
山田連人足
三國人足

蘓我鞍作入庚
都腹赤
弓削淨人
大伴宿祢千里
安倍宿祢仲滿
坂上田村麿
民黒人

八縣大養宿祢人足
文直人足

和氣入庚 桓武時
粟原腹赤
道削淨人
大江朝臣千里
藤原朝臣仲滿
河内連田村麿 三代実録
高市黒人

内藏忌寸黒人
韓国連廣足

高岡相如
藤原朝臣馬養
小野朝臣馬養
伊余連馬養
舩木直馬養

小野朝臣毛人
高橋朝臣毛人
石川牛養

皮多野朝臣廣足 共文武ノ時

藤原相如
粟田朝臣馬養
為奈真人馬養
天忌寸馬養

阿部朝臣毛人
佐伯宿祢毛人
記朝臣牛養

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

大伴宿祢牛養
調連牛養
阿辺百枝
三津百枝
佐伯虫麻呂
路真人虫麿
刑部虫麿
川原虫麿
箭集虫麿
大野東人
阿辺東人

多治比牛養
田辺百枝
橘百枝
引田虫麻呂
置始連虫麿
石上虫麻呂
下毛野虫麻呂
占部虫麻呂
御手代東人
大伴東人

猶原東人
中臣東人
佐伯宿祢東人
紀古麻呂
伊伎麿
続日本紀
道君首名
橘好古
藤原好古
和氣時雨
猿丸太夫 弁人

置始東人
道守臣東人
調古麿
下毛野麿
安倍首名
小野姑古
藤原時雨
猿丸弓削王八耳孫

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

猿丸 続太平記二荒山縁起之所ニ見ユ 羅山文集本朝遯史猿王トアリ

三善清行　安倍清行

紀清行

紀致頼 伯耆守　平致頼 大矢野大夫

和氣致頼 接津守

在原行平　橘行平

平行平 松原二郎左衛門　平行平 松原二郎

下河辺行平

大江佐国 掃部以従五位上　大中臣祭主佐国

藤原俊頼　源俊頼 正五位下左京大夫

藤原定家　平定家 尾張守従五下

藤原家隆　檜根家隆 内大臣

藤原義経 有院長官　源義経 九郎判官

藤原義経 伊多野右馬允　蓑浦義経

山本義経

源義仲 木曽　源義仲 二条判官

源義綱 賀茂二郎　源義綱 佐々木五郎

藤原師尚 但馬権守　源師尚 刑部太字多孫

高階師尚 中将　中原師尚 太宰大二

藤原典範 太宰大二　源典範 摂津守

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

原頼信 河内守
原頼信 横山左エ門
藤原頼政 右近将監
原頼家 筑前守
藤原清輔
原唱 京兆
原義盛 新宮五郎
義盛 伊世三郎
中原親能 奇院次官
丹波為頼 典茉刀
為頼 民原八郎

藤原頼信
原頼政 原三位
原頼家 将軍
紀清輔 帯刀先生
原唱 坂辺
平義盛 和田
原親能 内膳亮
藤原為頼 后宮亮

菅原時頼 出雲守従四位下
原行綱 多田蔵人
櫻嶋忠信 本朝文粋
坊門忠信 三木
佐藤忠信
蓮生坊 熊谷直実入道一云蓮生 又云兵西
蓮生坊 宇都宮弥三郎入道 号人
竹取翁二人あり
かくや姫三人あり
垂仁天皇妃 小野宮実資女 竹取物語

平時頼 北條
原行綱 高橋五郎左エ門
宇治忠信 号人
藤忠信 都芳門院蔵人

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3
ガラス使用

# 暦代異名

額田部連甥（ヲイ）
吉備笠臣垂（カサノヲミシタル）
葛城福草（サキクサ）
塩屋ノ鯏魚（コノシロ）
倉臣小屎（サクリ）
廬井ノ造鯨（クニラ）
都努臣牛（ツヌウシ）
土部連兎（ウサキ）
草部連醜経

物部朴井連椎子（スサノキノミ）
穂積臣咋（クラフ）
難波癬亀（クサカメ）
忌部木菓（コノミ）
能登臣馬身龍（ムタツ）
舎人連糠虫（スカムシ）
完人臣鳳（カリ）
間人連塩盖（ハシヒトノフタ）

右日本紀

安部朝臣男糞（ヲクソ）　日本後紀
卜部乙屎麿　三代実録
和氣岐波足（キハツ）　鷲取
真鷲　三人兄才　紀ノ木　鷲取
紀名龍　二人兄才　紀大人（イガメウト）　紀名虎
春風　月影　松影　三人兄才　奥名曽孫
多治比真人嶋　根咋臣　真咋臣　三人兄才
民黒人　藤山人　女成（メナリ）　大学久
原似忠（ニタヽ）　原三国町（ミクニマチ）　藤原万里（マリ）
藤原千葉　三津ノ百枝（モヽユ）　五百枝

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

五百城(キ)
橘千枝(チスキ)

右大系図

藤原五岳(イツヲカ)
藤原八釣(ヤツリ)

平五月(サツキ)
多治比土作(ツチツクリ)

阿古久曽(アエクソ)貫之小名
俳盛裏記

窕(クソ)古今集女名
稜(タレ)盗賊名

靡(ナヒキ)詞花集遊女
三鳥帽子同
廷訓ニ見ユ

同歌別作者

おきつ山かけさへ見ゆる山の井のあさしハ人をたゆものかハ
萬葉集ニハ陸奥采女詠ニ出ル詞ニ云ある
又々の女と
かくん山いさ立よりて見てゆん年へぬるなハ老やしぬると

古今集大体ニ云ハ古今著聞ニ散位敦頼
ふるさとの花のねいふ世なりせハいつよひかしのまとたハまし
後拾遺ニ出ル所
十訓抄著述ニ菱宗の家
なむやくしおもれをあへ世中にあらまつろふもはしやまひと
此家源平盛衰記待賢小侍従撰集抄ニ
伊世ニ号
きりとりとおりふしたもむしの様もよつりまてしたる秋
のこれかな
後成家集　盛衰記ニハ平宗盛
此ハ程有へし抄ニ出ましハ光輩の家を後
案時の奥ニ云ふして詠此せし成へし名号
なと誰も知ける事なまつハぬまてこそ詠へき謂

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

あしの家なる事まへあしに

明智系図云光秀才信教（サネヨシ）彦次郎後筒井順昭養子トス大和守順慶

一木ノ説也不審

百錬抄云保安三年五月十四日故二品親王白川前庭有足蛇出来テ為犬被喰殺ト有肥後国八代郡ニ古ヘヨリ天平革ノ板正平革ノ板アリテ今ニ傳レリ勅絶品ナリ天平革ノ板ハ中ニ天平十二年八月トアリテ不動ノ像及八幡ノ二字并梵字等アリ神号仏形アル

故ニ高買ヲ忘悼リシヲ征西将軍懐良親王八代郡高田ニマシ〳〵ケル時南朝正平年中ニ別板ヲ彫シメラレ商買タヤスクナレリ是ヨリシテ御ユルミヲウケタリトテ正平御免革ト称ス此板ハ中ニ正平十二年十二月一日トアリ他国ニテ正平革ト名付テ染出ストイヘ𪜈古ノ革ニ似タル物ナシ乾中天平皮コトニスクレタリ

鷲尾

貞盛　維衡　陸奥守従五位下

正度　出羽守従五位下　貞衡　安濃津三郎

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

貞清
家衡 鷲尾太郎 住伊世国
清綱 同二郎 住丹波国
維綱 同三郎
清久 同十郎 改義次 戦死于衣川
義治 十郎左エ門
義基 十郎
子孫在丹波摂津及諸国

原田ハ後漢光武十二代献帝後阿多倍王大化

年中日本ニ敍化ス播ノ国明石郡大蔵各ニ住ス二
子貴重王十二代春実純友追討之功ニヨリ賜筑
前国御笠郡原田居住因以為家号後春種ニ
改ム其子種資同国那珂郡岩戸ニ移四代孫原
田次郎太夫種直後太宰少二任ス故岩戸少郷
ト云種直仕平家建久八敏免旧国ニ下向其四
男種成同国怡土郡ノ鎮守高祖大明神ノ社勢
上原兵庫カ壻ト成高祖ニ城ヲ築キ数代居住ス
高祖村ハ彦大〻出見命代ヨリ鎮座ましく
友ニ名付ク

融 昇 正三大納 仕 武蔵従五下 貞 順 摂津

悟 龍口 左エ門　渡 左エ門尉 武者所

山背(シロ) 旧事紀　山代 同 日域本紀　開木代 同 万葉

山開 同 大和本紀　大養徳(ヤマト) 続日本紀　山跡(ヤマト) 弘仁私記

山戸 同 延喜開嶺記　吾餓(イガ) 風土記　充河内 古事記

嶋津 旧事記 今ノ志ナ　珠流河(スルカ) 同書　欲斐(カヒ) 続日本記

相武(サカム) 旧事記 相模　無邪志(ムサシ) 同書 武蔵　阿波 同 安房

俟(アハ) 日域本記　愡(フサ) 古語拾遺 上総下総　淡海(アフミ) 旧事記

近淡海(チカツアフミ) 古事記　三野(ミノ) 旧事記 日本 呉異記　斐陀(ヒダ) 旧事記

科野(シナノ) 古事記　信濃 日本紀　上毛野(カンツケノ) 旧事記

上菟毛(カンツケ) 古事記　下毛野 旧事記　下菟毛 古事記

道奥(ミチノク) 旧事記　高士(コシ) 旧事記 古事記 越前　越(コシ) 日本紀

能等(ノト) 旧事記　賀我(カヽ) 同　但波(タシハ) 鎮座傳記 次才記

且波(月) 古事記　但遅麻(タシマ) 旧事記　多遅麻 古事記

稲葉(イナハ) 旧事記　稲羽 古事記　伯岐(ハヽキ) 旧事記 古事記

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

意岐（ヲキ） 旧事記
吉備（キヒ） 旧事記
穴門（アナト） 旧事記
陀道（アハチ） 古事記
都佐（トサ） 旧事記
筑志（ツクシ） 旧事記
珮間（サツマ） 大和本記

隊岐（ヲキ） 古事記
阿岐（アキ） 同
穴戸 日本記
粟（アハ） 旧事記
土左 日本紀 古事記
豊（トヨ） 旧事記 豊後風土記
大角（ヲヽスミ） 同

針間（ハリマ） 旧事記
周芳（スハウ） 古事記
木 古事記 神名秘書 今ノ紀伊
伊奈（イヨ） 旧事記
熊襲（サド） 技案略記 不審
火（ヒ） 旧事記
伊吉（イキ） 旧事記

伊枝（イキ） 古事記
許乃國（コノ） 山城風土記 今宇治郡
隨土國（ヲトクニ） 日本記 今て川
更荒（サヽラ） 同 今濱良
泉水（イツミ） 同 今和泉
伊刀（イト） 日本記 今伊都
安諦（アタ） 日本尺異記 同

津嶋 旧事記 古事記
幡垂国（ハタノ） 常陸国志 今志多郡
菟田（ウタ） 同 今宇多
丹治（タチヒ） 続日本記 今丹南丹北
粟田 日本記 今ナシ
阿提（アタ） 同 今有田
阿育知（アイチ） 同 今愛智

集嶋 大和本記
信太國 同書 同
飽波（アフミ） 同 今忍海
丹治比（タチヒ） 日本尺異記 同
甲可（カウカ） 鎮座傳記 今甲賀
阿岳（アタ） 続日本記 同
年魚市（アユチ） 大和本記 同

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

葉栗（アイナウ抄）今羽栗
播豆（ハヅ）三代実録 今播州
長田 続日本記 今分三郡
安辨（アベ）風土記 今安倍
能野（コミノ）続日本記 今ナシ
玖珂（クガ）大内日記 今玖賀
苔田（トマタ）続日本記
英多（エイタ）同 今英田
藤原 同 後改藤野
賀夜（カヤ）風土記 今賀屋
三次（ミヨシ）三代 今ナシ
亀石 日本記 今ノ神石
豊東（ホウトウ）今ノ豊浦郡
豊西（ホウサイ）
豊田（トヨタ）
厚東（カウトウ）同書 今ナシ
鹿臥（カブス）扶桑畧記 今ナシ
岡田 延喜式 後改豊田
迩磨（ニマ）続日本後記 今近摩
安農（アノ）日本後記 今ナシ
神野（カミ）日本後記 後改新居

加戎（カヽ）夷異記 今加賀国
八橋 三代 八幡カ
敢（アベ）世記祕書 今阿拜
阿閉（アベ）神五伐式帳
隠（ナバリ）世記本縁 今名張
名墾（ヨ）秋日本記
嶋根山國 後分嶋郡楢縫秋麻三郡
儺（ナカ）日本記 今那珂
伊蘇（イソ）同 今怡土
鴉舸（ヲカ）風土記 今遠賀
御牧（ミマキ）大内家日記 今ナシ
三木（ミキ）日本記 今三他
耆資熊（キシマ）万葉 今杵嶋
熊 日本記 今玖磨
皮志（カハシ）同 今合志
闕宗（アソ）風土記 今阿蘇
宮子 夷異記 今京都
日高（ヒタ）風土記 今日田
日鷹（ヒタ）豊西記 同

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

肥多（有日 日）
串俌 風土記
碩田（ヲイタ） 風土記
伊佐 風土記
古庚（ココ） 今見陽（アイナウ）

異國ノ書ニ出ル所

讃替（サスキ） 武備志
伊都（イツ） 魏志
竺前 竺ニ後 四部稿
甲災（カヒ） 続字彙補
甲非鈘（カヒ） 西朝二十壊録
非石（ヒコ） 武備志
肥兒（ヒユ） 宋史
肥后 登壇必究
蓬哥（ブコ） 武備志 豊後

竹斯（ツクシ） 杜祐通典
一支（イキ） 同
都斯麻（ツシマ） 北史
腰田（ヨウタ） 同書編 伊勢山田
閘津（アノツ） 武備志 同安濃津
阿乃好子 同書編
沙界（サカイ） 蒼霞草
瓢舩名（ヘウゴ） 同書編
阿賣介撒（アマカサキ） 同
素埋（スマ） 同
阿家世（アカシ） 同
元什麻舵（ウシマト） 同 牛窓
茄賣茄里（カマカリ） 同 蒲苅
阿家殺記（アカセキ） 同 赤間関
八角嶋（ハカタ） 元史
阿多馬矢（アカマカセキ） 記編 同書
法哈嘩（ハカタ） 同
花旭塔（ハカタ） 武備志
法哥慾桟（ハユサキ） 同
平壷（ヒラト） 元史
飛蘭嶋 三才同會

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

阿麻国撒（アマクサ）同書編　昏陀（ウト）同宇土　牙子世禄（ヤツシロ）同八代
開懷世利（アハシリ）同川尻　達加代（タカセ）海道諸国記高郎　也望加（ヤマカ）同山庫
可苦嚬（コクラ）同書小倉　福乃（フナイ）同府内　撒一基（サイキ）同佐伯
都伊沙只（ツイサキ）諸国記鶴等　鹿国什磨（カコシマ）同書　多藝（タネ）同種嶋
三條帝諱居貞（イヤ）正統記大鏡井サタ
後堀川帝諱茂（トヨ）仁
近衛帝諱體（ナリ）仁

後土御門帝諱成（アサ）仁
後水尾帝諱改（コト）仁
朱雀帝諱寛（ユタ）明　愚管抄
四條帝諱秀（ミツ）仁
光明帝諱豊（ユタ）仁
門居（井）親王盛衰記
葛井親王續日本后記
常（トユ）明親王中臣子老（ヲキナ）
藤刷（ヨシ）雄　藤乙（タカ）叡
橘逸（ユサ）勢（ナリ）　薩戒記勢（ナリ）　朝野群載逸（マサ）

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

一條兼良　藤兵雄
伴健峯　仁談抄　愚管抄　原自明
藤白明　藤愛發　藤薩雄

典泉五似徒識叡駿早速
迅訓常執饒茂常間迫
小己叵馬揖流養薫令
顯龍刷利三縄薩陟徑
達止崔嶙乙勝耐斷勇

染後第礼葛結編発熟
勢體引良兵概臆梁上
宇古内悠延騎文管方
八楽逸猿真巻成凝以
茲同政言健自朽柄発
鏡彰喨光白同識智悟
了露雪去逝寛豊道女

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

着顧御質路(ミチ)術迪弥(ミツ)秀(ミツ)
代(シロ)鎮(シゲ)尭経兼坦(ヒラ)薩(ヒロ)成(ヒデ)慧
斯(ヒト)士以(モチ)四(モロ)醜金孟原塞(セキ)左(スケ)
宿(スミ)栖處
名字異訓如
不比等云史(フヒト)馬養(ウマカウ)云宇合(ウカウ) 万葉乃美阿比
橘廣(ヒロ)相(ミ)云博(ヒロ)覧(ミ)
嶋田忠臣(タヾオミ)云違音

紀長谷雄云発昭(バセウ) 是皆音訓通用ス
仲満 麻呂音ノ傳ナリ
賀茂姓ヲ慶滋姓ト称スルハ賀茂ノ二字ヲ
之々計ト訓スルヲ以滋ニ混スル歟
金神トハ道家ニテ西方白虎神トス日本ノ
支ニ非ス
鬼門 安南国ニ鬼門関アリ是ナリ日本ニナシ
燈庵主袖ノ下云十二月ノ花鳥ノ了定家々
真時ノ御門ノ勅ニテ花一ツ鳥一ツ定メ申サルヽ之

花鳥ノ哥一首ツヽ有トイヘ氏此四首ニテ心
得べし

春三月柳桜ニ夜の花
鶯雛ニ雲雀なくなり
夏三月卯のはしちまな
桜ニ山時鳥水雛鶴の鳥
秋三月さくめ所花萩すゝき
鶯かりかほに鶴なくなり
冬三月おしる菓びも梅の花
霞略(シキ)ワたりちとりおしる

以上廣益俗説辨

日本記ニ仲哀天皇治九年庚辰年五十二歳
ニテ崩ス則成務天皇十九年己丑生レ玉フ
今按ニ日本武尊ハ景行四十三年薨ス其
年ヨリ成務十九年マテハ三十七年也仲哀帝
ハ日本武第二ノ御子ナレハ父王崩シ玉テ三十
七年ノ後ニ生レ玉フヘキ理ナシ是日本紀ノ訛也
一説ニ仲哀帝ハ七十八ニテ太子ニ立九十二歳ニ
テ即位百歳ニテ崩スト云是ヲ以ミレハ景行
三十一年辛丑生レ玉フ然レハ日本武薨去ノ
時仲哀帝十二才也是ニ依テ見ルニ朕未若

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

冠ニ及不シテ文王カクレ玉ヒタト神哀ノ宣ヒシ
ニ叶ヒヌレハ信スルニ足リ凡日本紀ノ乱脱此外
ニモ数々有ヘシ釈日本紀ニモ乱脱ノ部ヲ立
タリ

貝原篤信　字久兵衛　始損軒　後改益軒
仕筑前侯　和漢兼学　篤実人　正徳五年卒
八十五歳　著述甚多

貝原好古　字市之進　篤信兄ノ子　号恥軒
元禄十三庚辰五月廿三日卒三十七

山崎敬義　字嘉右エ門　号闇斎
始入仏門中カ為儒　後神道者　晩年仕會津

君　儒学神道ニ不明ナリ

熊澤了海　字二郎八　仕備前　領一万石
心学人

中仕字右エ門　号藤樹

三宅緝明　字九十郎　号観瀾

荒井筑後守君美　号白石
奉仕　将軍家　領千石　木下順菴門人

室新助直清　号鳩巣
奉仕　上　領三百石

両森東五郎　伯陽　号芳洲　仕對馬

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

浅見十二郎 安正 号 絅斎
篠崎金吾 維章 号 東海
伊藤原佐 維禎 仁斎
古学ヲ興ス
伊藤原蔵 長胤 号 東涯 仁斎子
荻生惣右エ門茂卿 号 徂徠 古学
始甲冊ノ倍臣
植字板書目
四書古註 九冊或十一冊
大中ハ朱註語ハ何晏孟ハ趙岐

四書抄 環翠軒述 廿五冊
四書黄侃註 同知新日録 鄭申甫 十二冊 唐紙摺
周易註 王弼註 五冊 是ニ又点付ノ本アリ是ハ古ノ印本ニ 又周易傳義八冊アリ
同抄 桃華老人述 二冊 古註ノ抄
尚書 孔安国傳 四冊
毛詩 漢毛長傳 後漢鄭玄箋 八冊
礼記 鄭玄註 十冊 史記題評 五十冊
同抄 廿冊 尚書抄 九冊
詩経抄 十二冊
右二品斤カナノ抄一条 稗閣作ト云
亦東福寺不二岐陽和尚氏云

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3
ガラス使用

孔子通記 儒府著 四冊
雲林神穀 大本三冊
四河入海 大雲清三述
張中香 萬里作 五十冊
蒙求古註 三冊
神代巻抄 三冊 環翠軒抄
此印本七冊アリ
先代旧事記 廿冊
例仙傳 上中下一冊異本
皇朝類苑 廿冊

十九史畧 十二冊
感応編註 一冊 唐紙摺
東坡詩集抄 百冊
山谷詩集抄
龍龕手鑑 八冊 元興寺智光作
兼倶之
榮花物語 大本十六冊 今廿冊アリ
胡曾詩 素本一冊
陸象全書 廿冊 唐紙スリ

大学問 四冊
百縣抄解 一冊
宝物集 康頼 三冊 カタカナ
関東軍記 古書ノ印本
内裏普請帳 一冊
徒然草抄 寿妙院 二冊
活幼全書 後学銭大用述 三冊
黄帝秘要良方 養生ノ書之
箕法直解 三冊

寛永行幸記 大本三冊
撰集抄 西行記 三冊
分葉集 宗祇 一冊
百人一首註 宗祇 一冊
此内ニ意心宝鑑ト云小冊アリ
小瀬甫庵作
節用集 真書本二冊 文亀ノ本
万病妙茉集 小本一冊
円珍作 一冊
鴉鷺物語 兼良 三冊

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3
ガラス使用

宗鏡録樞要 三冊 洛陽大佛之銘註 一冊
帝鑒図説 真本 二冊 六家文選 三十冊
韓氏外傳 五冊 近思録詳説 十冊 暢府
読耕集 三十一冊 公事根原
林春徳詩集
清少納言 欠疑抄
本朝文粋 和名抄
日本書紀
此外禅録数品略之
右植字本目録大概ヲ以記ス此外當時原本ニ
出タル出目ハ不載之此内撰集抄宝物集二
品ハ板行ノ本ト廣略アルヲ以記ス又栄花ト雲

林神売ハ板本ト大小アルヲ以記ス
一本朝古代ノ植字板ノ始ハ不詳或云以前ハ
寺院ト学者ノ家ニアリ是ハ元学問ニ志アル
人ニ書ヲ施メタスケトスルトニ或五山ノ禅録詩文ノ
類書アリ又嘉録年中ニ選擇集ノ布板アリ
元亨元年ニ黒谷諸燈六ノ布板アリ即今ノ
板本ノ真書ニミエタリ
訢然曾テ聞リ植字板ノ始ハ慶長年中駿
河ニテ要用ノ文字一万字金印ニ御付ラレ
四書五経其外詩文集等摺ラセラルヽト云ヘリ
此時六七千字用テ三四千字不入ト云リ

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3
ガラス使用

一京都書林ノ真行ハ中野道伴ト云人アリ此人ハ始文之ノ儒門ニ仕ヘシ人之故ニ此文之ニ依テ始テ四書ノ植字本ヲ出ス又後ニ真付ノ布本ヲ以四方ニ流布ス則文子点ノ四書ト称ス今書林ニアル文選三臣註ノ布板以前ハ八幡ノ寺下ニアリト

嵯峨本書目

謡本　観世流百番本

此本ヲ双角ノ蔵本ト云或光悦本トモ云本紙ニ雲母ヲ引五色摺ノ書之又常ノ紙摺モアリ表紙ニ染色多シ則雲母ニテ中花鳥獣虫ノ模様ヲ摺込タルモノナリ

伊勢物語　二冊　同肖闘抄　三冊

此二品古謡本ト同断之

古今集　二冊　哥仙

此二品ハ素菴ト光悦トノ筆跡ヲ以布板トス何家板アリ

連歌無言物　三冊　平家物語　十二冊

長明方丈記　一冊　徒然草　二冊

此四品ハ本紙ニ雲母もよふを摺込タリ又花ノ紙もあり

源氏物語　五十四冊　清少納言　七冊

本紙キラモヨウアリ

文章達徳録　無点十　能花傳書　ウヘ字　八

謡乱曲　キラ引紙　二冊　廿四孝　一冊

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

嵯峨本法華經　八冊　片カナ付

或説ニ嵯峨天皇ノ勅ニ仍テ空海此經ニヨミ
ソセヲ書加ヘ奉ルト云ニ今本板ノ經ノ外題ニ
サガ本ノ三字アリ

隠(おノミ)　此抄　尊圓作市本　一冊

ツレ〳〵草　二冊

此二品ハサガ本ト云ニハアラズ已前ノ市板之
右書数大概ヲ挙ル之此外ニモサカ本ト云ハ紙ニ
キラモヨウノアルヲ以正トス此類出ニ角藏素
庵自筆ノ市本少ナカラス此本今ニサガノ
角ノ藏ニアリ

足利本書目

十三經註疏　書本下同　左傳　古文孝經

蒙求　史記題評　漢書前後

千字文　七書　七書抄

註千字文印板　同素本　大学中庸　カキ本下同

錦繡段　職原抄　文選　五臣註

老子經　莊子　杜詩千家詩　市本

東坡詩集　山谷詩集　詩格旁註

定華集外集　古今韵會　群玉韵府

三躰詩　詩学大成　漢玉篇

古文前後集　供武正韵　群臣故事

碧岩集　撈巖會解　虚堂録

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

隠倚書　列子カキ本　易著書　同

范徳機詩集　下本　山房夜話

右大概ヲ記ス本ハ古書ノ唐本ニ似文字細筆ニテ中本之

宇津保物語十四品目録　源順作　三十冊

落ひくほ上中下　梅のかえし上下　葉のちん上下

家集君　一　田嶋村鳥一　大淀　一　多古ノ不同

吹上上下　条使　一　嵯峨院上下

梅花笠　一　秋狄上下　俊蔭上下

おとこ殿　一　国ゆつり上中下

此書目等物かたりなりおもしろきことまとめのゝく

とこなり

伊勢百首　五社百首ト八　賀茂百首　春日百首

日吉百首　住吉百首　俊成作

百人一首　五部抄八

宗祇註　五巻抄　宗長抄

玄旨抄　貞徳抄

伊勢物語七部抄八

知顕抄　一冊経信　愚見抄　二冊兼良　肖聞　三冊肖柏

准后抄　惟清抄　定賢　闕疑抄　五冊玄旨

珍山抄

此外ニ宗祇山口記三冊アリ右ノ内知顕抄

准后抄珍山抄三品ハ不見不用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

御鎮座本記　一名飛鳥本記
倭姫命世記　一名太神宮本記
御鎮座傳記　一名太田傳記
同次第記　一名阿波羅波記
宝基本記
是ヲ伊勢神藏五部書ト云是ニ神名秘書
神祇本原ヲ加ヘテ七部書ト云按ニ偽書ニ

歌仙十八品

歌仙一冊ニ任　新哥山一　職人哥仙一
中古哥仙一　新女哥仙　續女歌仙

祝教歌仙　武家歌仙　新續哥仙
念仏歌仙　休息歌仙兵甫　狂歌仙梅盛
武林歌仙遊山　六〻貝合　女歌仙
新三十六人キシユン　六〻撰花兼

歌合類三十六種二十冊

天德歌合　近江御息女歌合　若狭守歌合
高陽院歌合　中宮亮歌合　住吉社歌合
建春門院歌合　廣田社　新羅社
賀茂社歌合　右大臣家歌合　時代不同
百番月　御室　新宮殿
撰〻　水無瀬　石清水

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

若宮　仙洞　建保
光明峯嚴　貞永　日吉社
遠嶌　撰五十番　宝治
伊勢新名所　外宮　按察使親長
文亀　三十番　秋五十番
七夕寄合

百首類十五部　二十二冊

宝治御百首五　名所百首三　正治後慶百首二
正治院百首三　弘長百首二　白川殿百首三
前宝治御百首六　亀山殿七百首三　嘉元仙洞百首十
五社百首二　久安百首四　永享三
延文百首十　將軍百首二　外目六

古語深秘抄　十冊

秘藏抄　躬恒　上中下　新撰髓髓　乙仕一　莫傳抄　俊頼一
和歌肝要一　後鳥羽御口傳　和歌式　定家一
正風躰抄　同　和歌庭訓　同　家隆口傳
近来風躰　良基　蛍玉集　長明　歎川上　安入道
八雲口傳　為家　夜の鶴　阿仏　耕雲口傳
桂明抄　堯孝　八雲一言記　和寄用意　前亜相
和寄二言集

本朝書目録二世徒物語四十帖藤原為業作と

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

ありて栄花物語を載せ大鏡に世継物
語目録をのせ大概ハ栄花の目録と同し
是を以老まつハ今の栄花ハ古の世継にして
赤染か作書ハ中比そこなるを好事の者書
語を改めたる成へし本云今写本に世継
世尾斗何とそこ市末叶書を不見
一中山大親水鏡序云東寿の比有ひ世継とす
さかしき義侍りき文徳天皇より後ゆくゝ
の事ハくしかしまヤノ事しよし所る 市栗
に是ハ今の大鏡の事なるへし
一一條冬良増鏡序云水鏡ハ神武帝より

何くらに記せり其次に大鏡 文徳帝の後
一条まで又世継四十帖延喜の堀門の光帝
まで又何りしの有しとの書のへる今鏡後一
條かきる寓院まで後世継ハ隆信朝臣後多
相院の位の有しまでを記しくると
市考ハ今の増鏡に後嵯峨より後碇
磵迄を記しこれハ後世継同書か絶ましとも
冬良の序に隆信の作とあまへハ別書なるへし
又考に今板本の鏡世継十冊後一条かき
寓まで何まつは是ハ今鏡なるへし
一本に大かゝん一名鏡世継と何るへし

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

本朝書目録ニハ
世継 四十巻 藤為業作　水鏡 三巻 中山内府抄
大鏡 二巻　後世継 二巻
今鏡 十巻 按今の鏡世継之　唐鏡 十巻 茂範抄
とあり今板本ニ見ゆるハ
大鏡 八冊　水鏡 三冊
増鏡 十冊　續世継 十冊
小世継 一冊 如此あり
此鏡の類とかく一様ならねバ追て考訂すべし

宇治大納言物語ハ今の今昔物語六
十冊なり 然るに今の宇治大納
言物語といふ物三冊あり 内ハ小世継と同
事之事ハ今昔の拾遺ともすべし 然ハ書林
の杜撰と見ゆ
一 鴨長明四季物語といふあり 板本ハ偽書
成よし 予未写本を不見 善本無し
一 夫木集 八十巻ハ写本ニあるよし 板本ハ
八巻ハ偽書なり
一 東鏡脱漏と四十五巻めといふハ 誤なり 別
巻の欠年なり

一江家以来十六の巻古来より見てあり
一拾遺桂林傳下巻あり
一今にも見巻あり
一律世にあるへ一二三七と四角あり
一類聚國史同三代格技楽略記本朝月令
此外古来の和書いつまでも現在之全部ハ傳
いらず
一栄花物語ハ東深ク作にあらさるよし水
戸の栄語考にあり
一稱にあり市中の和書　雑因歌枕　同
云々集　世諺問答　八幡見童訓

松帆物語　暦林問答　結城軍物語
宗像軍記　異制庭訓　穴太記
甲乱記　詞不可極　海人藻芥
懐風草　源語秘炎

日本書紀　古事記　續日本紀
日本後紀　仁明実録　文徳実録
三代実録　技楽略記　神皇正統紀
古語拾遺　元々集　神令

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

天書
続日続録
同纂疏
江家次第
百寮訓要
拾芥抄
廿一社記
本朝文鑑録
懐風藻
水鑑

延喜式
新撰姓氏録
令義解
南朝年中行事
和名類聚
三事假名抄
本朝文粋
雲圖抄
風土記抄冊
増鑑

帝王系統録
神代口訣
公事根源
職原抄
名目抄
倭人薬艾
菅家文草
禁秘抄
大鏡
続世継

宇治亜相物語
栄花物語
同和秘抄
大和物語
今昔物語
竹取物語
太子傳
詞不可極
庭訓往来
建武式目
平家物語

宇治拾遺
源氏物語
同秘訣
伊勢物語
徽書記物語
うつほ物語
藤原系図
明衡頃自
異制庭訓
下学集
保暦間記

古今著聞
同仙原抄
同雪隠
同肖図
同後編
十訓抄
大系図
尺素往来
貞永式目
保元平治
源平盛衰記

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

義経記
同脱漏
兼久軍記
嘉吉記
北條盛衰記
同九代記
南朝紀聞
同末書下巻
甲乱記
亢太記
菊池佐々記

奥羽軍記
太平記
明徳軍記
応仁記
信長記
北畠物語
甲陽軍鑑
同結要本
甲越戦争記
結城軍記
龍造寺記

吾妻鏡
難太平記
赤松記
早雲記
鎌倉大草紙
太閤記
同中巻末書
同三徳本
三好記
義貞軍記
藤葉栄衰記

天正軍記
宗像記
九州記
清正記
八幡愚童記
神社啓蒙
編年小史
寝覚記
長明発心集
梗衣
廿一代集

将軍家譜
山形軍記
中国記
同本紀
神社便覧
和字解
撰集抄
秋月物語
萬葉集
能因玄々集

武者物語
毛利記
里見記
神社考
王代一覧
徒然草
沙石集
鵜鷺物語
同抄
新葉集

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

八雲御抄
袖中抄
順徳院御集
長明道之記
同海道記
和漢誤詠
いさよひ日記
清少納言
職人尽歌合

奥儀抄
藻塩草
東野州家集
同方丈記
望塵愚按抄
同新撰
仙洞歌合
開藤川記

袋草紙
後鳥羽御集
宗祇家集
同無名抄
和哥四家式
土佐日記
年中行事歌合
小嶋きさひ

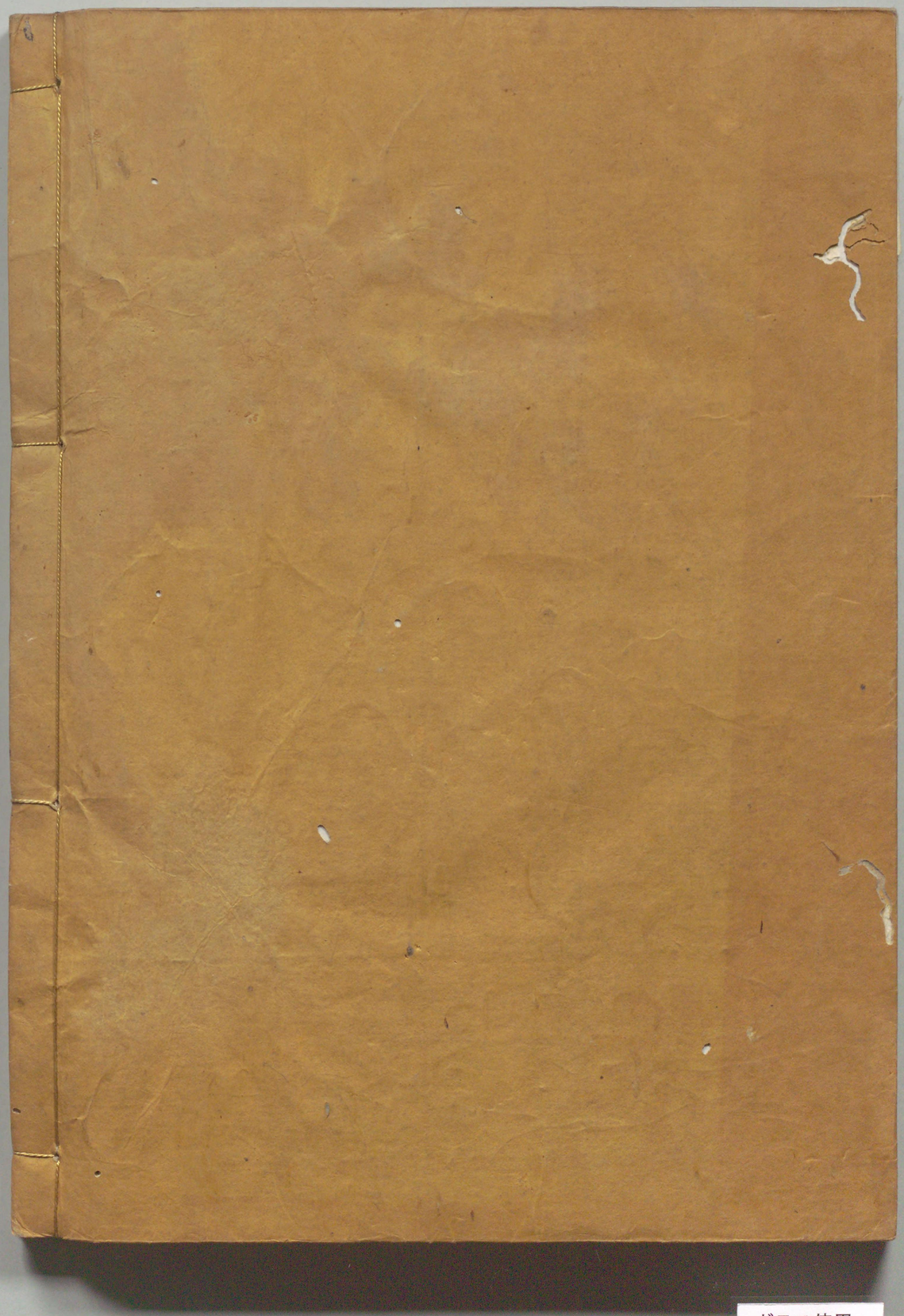
二本松右京カ子孫水野監物家ニアリ
秤師守隨ハ武田義信後之慶長七四月十二
日紹巴死　寛文八八月廿一日三宅道乙卒

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

1000
3

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用



国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用